

## Strike MultiPad

機能アップデート：v1.3

リリース日：2020年6月9日

### アップデート方法

1. FAT32 フォーマットの USB フラッシュドライブをコンピューターと接続します。
2. コンピューターにダウンロードした **LDST\_UPD.DAT** ファイルの場所を確認します。
3. LDST\_UPD.DAT のみを USB フラッシュドライブのルートディレクトリにコピーします。フォルダーの中にはコピーしないでください。
4. 通常の手順で USB フラッシュドライブをコンピューターから取り出します。
5. Strike MultiPad の電源がオフになっていることを確認してください。
6. USB フラッシュドライブを Strike MultiPad のリアパネルにある **USB MEMORY** ポートに差し込みます。
7. Strike MultiPad のトップパネル上の **BPM** および **Click** ボタンを押し続けます(メインエンコーダーの上にあります)。
8. これらのボタンを押しながら Strike MultiPad の電源を入れます。
9. 電源投入後、明るい青のアップデート画面がディスプレイに表示されます。Strike MultiPad が自動的に USB ドライブ上のアップデートファイルを検出し、「v1.3」の文字がディスプレイに表示されます。
10. **メインエンコーダー**を押すとアップデートが開始されます。アップデートの所要時間は約 5 分です。

**重要：**アップデートが完了するまで USB フラッシュドライブを抜いたり、本体の電源を落としたりしないようにしてください。USB フラッシュドライブと本体に損傷を与える可能性があります。

11. アップデートが完了するとその旨がディスプレイに表示されます。
12. Strike MultiPad の電源を切り、USB フラッシュドライブを **USB MEMORY** ポートから抜きます。
13. Strike MultiPad の電源を通常通り入れます。起動中表示されるファームウェアのバージョンが v1.3 になっています。これで最新機能を使用することができるようになりました。

### 技術仕様

詳細については [alesis.com / support](https://alesis.com/support) をご覧ください。

### 新機能

#### v1.3 の新機能

- **Sample Manager 機能**

Strike MultiPad 内蔵ストレージに保存済みのサンプルのブラウズ、再生、削除、外部 USB ドライブへのエクスポートが可能になりました。以下の手順をご参照ください：

**Utility (ユーティリティ)** ボタン > **F6-Backup** の順に押しバックアップメニューを開き、**Sample Manager** を選択します。

- **ユーザーキットとサンプルのセーブ/ロード**

ユーザーキットで使用されているサンプルをセーブ/ロードすることが可能になりました。

これによりユーザーバンクの完全なバックアップを作成することができ、別の Strike MultiPad での使用も可能です。

## ユーザーキットとサンプルのセーブ

1. **Utility (ユーティリティ) ボタン > F6-Backup** の順に押しバックアップメニューを開き、**Save All User Kits** を選択します。
2. セーブセーブに時間がかかる旨をするウィンドウが開きます。セーブを実行する場合は **OK** を押しします。  
キャンセルする場合は **CANCEL** を押し、バックアップメニュー画面に戻ります。
3. セーブを実行した場合は、次の画面でバックアップファイルに名前を付けることができます。**メイン・エンコーダーノブ** で名前を編集し、**F5-Save** を押しとファイルをセーブします。  
**F6-Exit** を押しとキャンセルし、バックアップメニュー画面に戻ります。

**ご注意：**外部 USB/フラッシュドライブの多くは FAT32 ファイルシステムを使用しており、保存容量の上限が 4GB となっているため、このサイズを超えたデータはセーブできません。サンプルデータが 4GB を超えることは稀かもしれませんが、セーブの際はキットに入っているサンプルを確認し、適切にトリミングされているか確認することを推奨します。

ユーザーキットとサンプルをロードするには、以下の手順をご参照ください：

**Utility (ユーティリティ) ボタン > F6-Backup** の順に押しバックアップメニューを開き、**Load All User Kits** を選択します。

**ご注意：**USB ドライブの全てのユーザーキットをロードすると、ユーザーバンクのキットは全て上書きされます。一度上書きすると Undo (元に戻すこと) はできなくなるので、必要に応じてバックアップファイルの作成を推奨します。

### ・ Start Click 機能 (Loop/Alternate Playback Mode 選択時)

Playback Mode (プレイバックモード) が Loop 設定、もしくは Alternate Playback Mode (Round Robin) に設定 (サンプルを交互に再生) されているパッドの演奏時、メトロノームが自動でオンになるように設定します。

演奏中に再度パッドを押すか、サウンドの再生が終わるとメトロノームは停止し、再度有効にすると Beat 1 から始まります。この機能を有効にするには、以下の手順をご参照ください：

**Sound ボタン > F4-Mode** の順に押し、**Playback Mode** から任意の設定を選択します。

### ・ メトロノーム・ダウンビートのリセット

メトロノームは、Start Click 機能を有効にした際も、メトロノームボタンを押して再生した際のも Beat 1 から再度再生されます。

## v1.2 の新機能

### ・ セットリスト

プリセットキット/ユーザーキットで使用されているセットリストを編集/セーブすることが可能になりました。**F6-Setlist** を押し、Kit Menu を開くとセットリストの編集を行うことができます。詳しくはユーザーガイドをご覧ください。

### ・ Kit ナビゲーション/ロードタイムの改善

Perform/Kit メニューにロードせずに Kit をブラウズできるようになりました。点滅しているキット名を選択している状態で **メイン・エンコーダーノブ** を押しと、そのキットを簡単にロードすることができます。

### ・ フットスイッチ再生モード

パッドの Wave A/ Wave B をフットスイッチで切り替えることができるようになりました。

- **Wave のクイックコピー機能**

Sound メニューで **F1-Wave** を押さえると、任意の Wave 内のサウンドを別の Wave にコピー&ペーストすることができるようになりました。

## v1.1 の新機能

- **WAV フォーマットの互換性の強化**

USB 経由でプレビューおよびインポートできるサンプルのビットレートおよびサンプリングレートが 44.1kHz、48kHz、88kHz、96kHz、16 または 24 ビットになりました。

- **ハイハット・グループ**

ハイハットグループとハイハットペダル入力に複数のパッドを追加できるようになりました。番号の低い方がクローズドポジション、高い方がオープンポジションになります。

- **サンプル編集の強化** ループ再生をしながらサンプルのスタート/エンドを編集できるようになりました。

新しい保存オプション：

1. Save = 非破壊保存 (v1.0 と同じ)
2. Trim = スタート/エンドポイントの外側の部分は完全に削除
3. Slice = スタート/エンドポイントの内側の領域から新しい WAV ファイルを生成

- **Kit FX のアサインのワークフローを強化**

Kit FX の追加：

1. KIT FX ボタンを押します。
2. KIT FX 1、2、3 のいずれかを選択します。
3. エフェクトとパラメーターを選びます。
4. ASSIGN を押します。
5. エフェクトを割り当てたいパッドを叩きます。
6. プレビュー中、名ねを回してエフェクト量を調整します。
7. 他のパッドも同様に行ないます。
8. もう一度 ASSIGN を押して終了します。

- **パフォーマンスの強化と軽微な調整**